

プラズマ・核融合学会誌

第86巻第3号

2010年3月

小 特 集	レーザー電子加速の進展	
	1. はじめに	三浦永祐 137
	2. 電子ビーム制御に向けた進展	
	2.1 オプティカルインジェクション (光電子入射) を用いたレーザー電子加速	小瀧秀行, 神門正城, 林由紀雄, 大東出, 川瀬啓悟, BULANOV Sergei V. 139
	2.2 外部磁場を用いた電子ビーム発生の制御	細貝知直 143
	2.3 High-Z ガスを用いた準単色電子ビーム特性の安定化	森道昭, 近藤公伯 147
	3. 高エネルギー加速に向けた進展	森芳孝 151
	4. PIC シミュレーションによるレーザー電子加速の解析	益田伸一, 三浦永祐 156
	5. 相対論的速度で動く鏡からの光の反射	
	—レーザー・プラズマが作る航跡波からの電磁波の反射と周波数上昇—	神門正城 164
	6. おわりに	三浦永祐 169
講 座	大量トリチウム取り扱い技術開発30年の成果と今後の課題	
	2. 大量トリチウムの取り扱いに関わる研究成果 (1)	
	—トリチウムの閉じ込め, 安全取り扱い実績の積み重ね—	波多野雄治, 山田正行, 林巧 173
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		185
インフォメーション		186
	ITER だより(20)	
	プラズマ物理学・核融合科学の振興をめざした「物性物理学・一般物理学分野の大型計画に関するシンポジウム」検討ワークショップ	
	【受賞のお知らせ】田村直樹氏	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar		203
本 会 記 事		205
	第27回年会シンポジウムおよび招待講演の募集/学会賞候補者の募集	

表紙の絵

軸方向に非一様な密度分布をもつプラズマ中での TM (Transverse Magnetic) および TE (Transverse Electric) モード表面波についての解析を行った。波動方程式は電磁場 E , B および誘導電流 J に対するマクスウェルの式から導出される。TM, TE 各モード表面波に対して、その電界成分を、軸方向 (z) とそれに垂直な成分 (r, θ) に分離し、それぞれに対して固有モード方程式を導出した。図は TM モード表面波の垂直方向成分 $\phi(r, \theta)$ の分布で、モード数 (m, n) が $(1, 4)$, $(8, 1)$ に対するものである。(Hitoshi HOJO *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.5, 006 (2010) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。